

沖縄県恩納村における基本計画の概要

計画のポイント

豊かな自然環境、独特な文化・芸能などの地域資源及び充実した施設を有するリゾートホテル等の機能を活かし、第一次産業との連携強化による地域産品の活用や特産品等の開発、また、観光サービス間の連携により、多様な観光サービス商品を開発し、販路の裾野拡大を目指す。また、沖縄科学技術大学院大学の優れた人材による高い技術シーズとグローバルな人的ネットワークを活かし、当該技術を実用化する企業と地元企業の取引増大による地域経済の好循環を目指す。

促進区域

沖縄県恩納村の行政区域

経済的効果の目標

1件あたり平均2,926万円の付加価値額を生み出す地域経済牽引事業を25件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.39倍の波及効果を与え、10.2億円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】

- ①風光明媚な自然環境を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり分野
- ②リゾートホテルや沖縄民謡・舞踊等の観光資源を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり分野
- ③沖縄科学技術大学院大学の人材を活用した成長ものづくり分野
- ④リゾートホテルや万座毛等が存在することによる観光集客力を活用した交通事業
- ⑤モズク等の特産物を活かした農林水産・地域商社分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：2,926万円（沖縄県の1事業所あたり平均付加価値額）を上回ること

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上げ：5.3%以上増加
- 雇用者数：2.9%以上増加

制度・事業環境の整備

- ・固定資産税の減免措置の創設、地方創生推進交付金の活用
- ・本村が有するデータの公開
- ・本村商工観光課及び企画課に事業者の抱える相談窓口の設置
- ・公共交通インフラの整備

地域経済牽引支援機関

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄科学技術大学院大学、恩納村商工会、沖縄振興開発金融公庫、沖縄銀行

《促進区域及び地域の特性》



計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで